

ARM 最新テクノロジーに対応した

TRACE32 開発ツール

TRACE32

検索

対応 ARM コア CORTEX-A, CORTEX-R, CORTEX-M, ARM11, ARM10, ARM9, ARM7

TRACE32は携帯電話をはじめ、世界のほとんどのARMプロジェクトで採用されている高信頼性開発ツールです。オンチップデバッグ機能を最大限に活用した先進の機能を装備、全ARMコアをサポートする開発システムの世界標準です。

各種 RTOS に対応

Linux, Symbian, Windows CEをはじめ各種のRTOS対応デバッガを標準装備、ブートコードからアプリケーションまでシームレスな開発作業をサポートします。

SMP 対応の新デバッグコンセプト

TRACE32は従来の非対称型マルチコアプロセッサ(AMP)と同様の強力なデバッグ機能をSMPターゲットにも提供します。

ARM コア節電モードでのデバッグをサポート

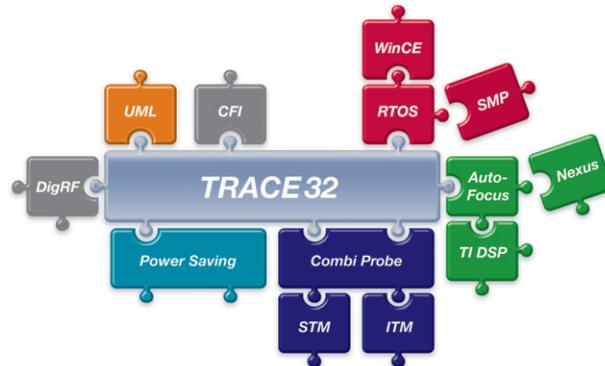
しかも消費電力の最適化に効果を発揮するエネルギー測定機能を実現。ジュールやワットをグラフ、数値にて統計的に表示します。関数毎のエネルギー消費やシステム状態、さらにはプログラムフローと関連付けて電力消費量を表示します。

仮想プロトタイプ用 TRACE32

TRACE32をCoWare, Synopsys, VaST等の仮想プラットフォーム上のデバッガとして使用できます。

ARM シリアル・ワイヤ・デバッグ(SWD)に対応

従来の14ピンあるいは20ピンコネクタではなく、わずかにピン2本を介してターゲットと接続、すべてのJTAGデバッグ機能、テスト機能およびメモリへのリアルタイムアクセスを実行します。トレース解析も可能です。



マルチコアデバッグ

複数のARMコアおよびDSPを一台のTRACE32で同時にデバッグできます。

Cortex-A9も既にサポート

最新の高性能、低消費電力ARMプロセッサ、Cortex-A9シングルコアおよびMPCoreをサポート。Cortex-A9 Program Trace Macrocell (PTM)により、ターゲット動作に何ら影響することないプログラムフロートレース機能およびプロファイリング解析を提供します。

大容量4GB高速550MHzのETMトレース

ETM用トレースプローブでは4GBメモリと高速550MHzトレースを実現、ターゲットクロック速度を落とさずに、解析に必要なトレース情報を確実に捕えます。しかもカバレッジ、パフォーマンス、キャッシュその他豊富なデータ解析機能を内蔵しています。



日本ローターバッハ(株)

<http://www.lauterbach.co.jp/>

〒222-0033 横浜市港北区新横浜3-9-5 第3東昇ビル2F

TEL : 045-477-4511 / FAX : 045-477-4519

E-mail : info@lauterbach.co.jp

日本ローターバッハ
高品質開発ツール